

令和6年度第4回花巻市行政評価委員会会議録

1 開催日時

令和6年10月29日（火） 午前10時～午前11時25分

2 開催場所

花巻市定住交流センター（なはんプラザ） 1階 COMZ ホール

3 出席者

(1) 委員 出席者：12名

影山一男委員長（富士大学経済学部教授）、小林麻美副委員長（富士大学経済学部講師）、小田島浩徳委員（花巻農業協同組合）、市野川啓委員（花巻商工会議所）、日下明久美委員（花巻市食生活改善推進員協議会）、佐藤睦朗委員（一般財団法人花巻市スポーツ協会）、中村萬敬委員（花巻市芸術協会）、日下一也委員（花巻市民生委員児童委員協議会）、冨手京子委員（花巻市地域婦人団体協議会）、中里美委員（花巻市内学童クラブ連絡協議会）、杉谷和哉委員（岩手県立大学総合政策学部講師）、板垣武美委員（公募委員）

委員 欠席者：4名

細川祥委員（社会福祉法人花巻市社会福祉協議会）、阿部久美子委員（一般社団法人花巻観光協会）、川又留美子委員（花巻市PTA連合会）、高橋和也委員（一般社団法人花巻青年会議所）

(2) 市・事務局：20名

岩間裕子（総合政策部長）、古川昌（財務部長）、阿部晋（地域振興部長）、菊池正彦（農林部長）、伊藤昌俊（商工観光部長）、板垣浩美（建設部長）、瀬川幾子（教育部長）、坊澤尚行（地域づくり課長）、藤田康悦（農政課長）、松田隆（観光課長）、藤井善也（都市政策課）、重茂猛（道路課長）、菅野弘（学校教育課長）、千葉孝典（財政課長）、菊池司（秘書政策課長）、小原広幸（財政課長補佐兼経営財務係長）、鎌田明洋（秘書政策課長補佐）、八重樫尚孝（秘書政策課企画調整係長）、佐藤亜美（財政課主事）、阿部ゆうみ（秘書政策課主査）

4 議題

(1) 部会

部会評価の取りまとめ、確認について

(2) 全体会

ア 評価結果の決定について

イ 行政評価の改善に関する提言について

ウ 行政評価に関する委員会報告書（案）の作成について

(3) その他

5 議事録

(開会)

(菊池秘書政策課長) ただいまから、令和6年度第4回花巻市行政評価委員会を開会いたします。

影山委員長よりごあいさつをお願いいたします。

(影山委員長)

皆様おはようございます。本日はお忙しい中ご出席いただき、改めて御礼を申し上げます。

本委員会は本日第4回目を迎えます。本日は、これまで各部会で行った議論をまとめていただき、その報告を通じて委員会全体で共有していただくことがひとつの大きな仕事になります。

どうぞよろしくをお願いいたします。

(菊池秘書政策課長)

それでは引き続きまして本日の流れについてご説明をさせていただきます。

この後、部会ごとに部会評価のまとめをしていただきます。事前に送付しておりました「施策評価検証シート」について、確認の上必要に応じて加筆修正する作業が主となります。

それぞれの部会ごとの座席に移動いただきご協議をお願いします。なお、部会の時間は20分程度を見込んでおります。

その後、全体会において、各部会長より「施策評価検証シート」に従い、部会の評価結果について、それぞれ10分程度でご報告いただきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。なお、本日の部会につきましては、終了時間を11時30分頃の予定としておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。それでは、部会ごとにご協議願います。

(1) 部会（「しごと」、「暮らし」、「人づくり・地域づくり」の3部会に分かれて進行）

各部会の評価結果（部会ごとの施策評価検証シート案）について協議を行った。

(2) 全体会（影山委員長の進行）

ア 評価結果の決定について

部会協議の結果（部会ごとの施策評価検証シート案に加筆修正したもの）を部会長が読み上げて報告。

(影山委員長)

各部会の部会長より評価結果を報告していただきましたが、委員の皆様からご質問やご意見はありませんか。

(杉谷和哉委員)

人づくり・地域づくりの補足ですけれども、コミュニティ会議の

事業の評定が辛めになっているかと思います。これはもちろん委員の中でも様々な意見があったところではありますが、こういった評価というのはやはり担当の方がどれだけその事業に習熟しているかにかなり左右される面があることは否めないかなと思います。今回地域づくり課の事業はどちらかという到着任されて日が浅い方がご説明してくださいました。ですので我々の細かい質問に対して十分に答えられていなかったという面があり、評定が全体的に辛めになっているという感じはいたします。それは決してその方が良い悪いということではなく、施策評価・事務事業評価というのは施策事業の内実のみならず、それを説明する担当者の経験であるとか弁が立つとかそういった面にも左右されるということはどうしても避けられませんので、そういった面を含めての評定になっているということを担当課の皆様におかれましてはご理解いただけると幸いです。以上です。

(影山委員長)

その他にご意見等ありますでしょうか。

《意見なし》

(影山委員長)

ご意見等がないようですので、各部会からの報告を委員会全体の意見として決定します。

イ 行政評価の改善に関する提言について

(阿部秘書政策課主査)

花巻市行政評価委員会の所掌事項のひとつに、「行政評価の改善について市長に提言すること」がございます。これまでも、委員の皆様からのご意見を参考に、行政評価の方法などについて、改善を行ってきたところです。

今年度も、全体を通じて感じたことなどから、より効果的な行政評価のあり方について、ご意見をいただきたいと思います。皆さんからいただいたご意見を基に、来年度以降の行政評価について改善してまいりたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(影山委員長)

それでは、行政評価の改善に関するご意見や提言があれば発言をお願いいたします。なお、今回は事前に委員の方より寄せられたご意見がありますので、こちらについては他の皆様のご意見をいただいた後に伺いたいと思います。まず事前にいただいた方以外の方で、ご意見がある方はいらっしゃらないでしょうか。

(中村萬敬委員)

委員の中村でございます。私は人づくり・地域づくり部会に属しておりましたけれども、その中でコミュニティ会議の基盤強化ということで昨年度1年間の事業の評価を検証してまいりました。

コミュニティ会議につきましては、今まで市当局においても、あるいは市議会においても、現在どういう状況にあるのかとか、いろんな課題があったと思うんですね。一般市民の方々の意識として、果たしてコミュニティ会議は今のあり方でいいのかという疑問を持っている方もいらっしゃるのこのコミュニティ会議の再評価を私は市に要望したいと思います。

コミュニティ会議は最初大石市長のときに小さな市役所構想という名目のもとに設置されました。合併した当時は職員の数も1市3町が合併して、職員の配置をしなきゃいけないということもあったようで、昭和の大合併したときの町村ごとに置かれているわけです。具体的に言いますと石鳥谷地区の場合は6地区ですね。

はっきり言って、石鳥谷町として築き上げてきたまち作り地域作り事業そのものが、継承されていない様な気がしてならないわけです。コミュニティ会議を設置したことによって、昭和30年以前の区割りに戻ったっていいですか。

確かに平成の大合併によって大きな新しい花巻市というものが誕生したんですけど、地域住民の意識とすれば、新しい花巻市民というよりも、それ以前の昭和の大合併、そういう小さい枠に収まってしまっている感じがしてならないわけです。確かに小さいくくりで考えるということも必要なんですけど、行政の仕事においても、今指定管理者の形を取ってるわけですが、市民の皆さん、どこに要望を持って行ったらいいか分からない。コミュニティに持っていけばこれは市の仕事だからうちの関係じゃないと言うし、市役所に持ってくれば、これはコミュニティ会議でお話しましたかとか、あるいはコミュニティ会議の中で優先順位一番目ですかとか言われて、それでことがうやむやになるというケースが多々見受けられます。

そういうことで、コミュニティ会議の有りようの再検討をお願いしたいというのが私の花巻市に対する現在の要望でございます。以上です。

(影山委員長)

はい、ありがとうございます。

先ほどから言われているコミュニティ会議の施策そのものは認めたいので、施策の中身、それを実現する事務事業も含めて検討してい

ただけないかということでしょうか。

この委員会は行政評価を評価する委員会であり、政策を提言する委員会ではないんですけれども、一応その行政が内部評価をしたものを評価する立場なので、その政策そのものについても提言という形で出すのがいいのかちょっとそこはわからないんですけども、事務局と調整をして納得できるような形で提言にするか、市役所内部で事務局、それから政策立案のところで検討してもらおうか、その辺りは後でご連絡をしていきたいと思います。

ここで議論をしていくと時間も限られていますので、そういうご意見があったということは議事録に残すなりいたしますのでよろしいでしょうか？他にご意見いかがでしょうか？

《意見なし》

(影山委員長)

それでは事務局を通して事前に寄せられたご意見ありますので資料をご覧ください。資料を配布お願いします。

《資料配布》

(影山委員長)

11 の項目がありますが、これらを全て細かく説明していただくと時間がかかってしまいますので、補足する点があれば簡単にお願いたいと思います。

(板垣武美委員)

公募委員の板垣でございます。

冒頭に事務局から説明がありましたが、行政評価委員会のミッションの中に、行政評価改善について市長提言をすることとありましたので、提出させていただきます。

委員長からのお話がありましたが、個別にご説明をすると、やはり時間がかかりそうですので、これは各委員におかれましては後ほどじっくり読んでいただきましていろいろご批判もあろうかと思いますがご意見ご指摘をお願いしたいなと思います。

私行政評価に対しては、全体像を把握しておりませんのであくまでも外部評価についてのみの提言をすればよかったのかなと思いますけれども、花巻市では総合計画を推進するにあたって、行政評価に基づくアクションプランを進捗管理していくという事を方針として打ち出しておりますので、やはりこの行政評価というものが時代にふさわしい形で少しずつでもアップデートしていかなくちゃならないのではないかという問題意識が強くあります。

ちょうど本年から総合計画も第2次の初年度ということで、新しい総合計画が動き出した年であります。来年度はこの新しい総合計画の

初年度の評価を行う年になるわけですので、その意味でも、行政評価自体を改善していくことが必要だろうと思っております。

11 ある意見の中の冒頭にEBPMという言葉を使って意見を述べさせていただいておりますが、このEBPMに関しては今日ご出席の杉谷先生がご専門でございますから省略いたしますが、いずれにしろ、政策の有効性を高めて住民の行政に対する信頼を確保するための最近注目の取り組みというものがございますので、それらも取り入れながら行政評価を改良改善していただきたいなと思って書いた意見でございます。

(影山委員長)

短い時間で申し訳ありませんがありがとうございます。
この他にご意見等ありますでしょうか？

(日下明久美委員)

私は今年初めて行政評価委員になったんですけども、行政の評価をするにあたって、今年だけと範囲を区切られているのがすごく難しいと思いました。というのは、同じようなことを何年もかけてやってきているとして、以前のことがわからないと今年の評価をするのが難しいと感じましたので、もう少し評価の内容や記載を過去のことからというか、今年はこういうところに重点を置いてこうなったとか、特徴的なことがわかる形になればいいんじゃないかと感じました。

(影山委員長)

はい。過去の評価、そういったものも見られればということでしょうか。

(日下明久美委員)

評価だけでなく、今年、この評価になるためにいろいろ努力したり実施したりしたことを、以前との繋がりがわかるような形になっていると評価しやすいと感じました。

(影山委員長)

例えば3年分ぐらいの過去のものも含めて補足資料としてあればもう少し評価がしやすいということでしょうか？

(日下明久美委員)

私今日配付された資料を持ってきましたけど、すごい資料の量ですよ。それに更に前の年の分もとなると、限られた時間で目を通すのは難しいです。だから、具体的じゃなくて申し訳ないんですけど、もう少し私のような内部評価のわからない人にも理解できるような資料になっていけばいいんじゃないかなと感じます。資料をもっとたく

さんつけてくださいという意味ではないです。

(杉谷和哉委員)

私も考えていることが一緒だと思うんですが、行政評価は基本的にアカウントビリティを確保するために行われていると思うんですけど、現状の事務事業評価はシートが結構専門的で、おそらく一目見ただけではちょっとよくわからないと思います。

これはどこの自治体でも同じなんですけど、実は事務事業評価は内部の業務を円滑に進めるための資料、内部資料になっているんですね。

なので、外部から見たときにわかりにくいというか、これは何がどうなってるのか、というのが専門家が見ないとわからない。自治体の中のことがわかっている方じゃないとピンとこないところがある。本当は、そこはもう少し外部の人間が見てもわかりやすいようなレイアウトや、外部の人間が知りたい情報が記載されている評価の有り様というの、追求すべき一つの部分かと思います。

ただ、かといってそれを今からすぐに変えてくれというと、実際なかなか難しいと思いますので、ぜひこの行政評価委員会の中で、継続して実はこういった情報があればいいのではないかとか、こういったことが気になりますというのを、ぜひ市民の皆さんの目線で積極的に意見を表明していただいて、変えられるところを少しずつ変えていくという取り組みが必要かと考えます。

(影山委員長)

もう少しわかりやすい説明、補足説明等をしてほしいということでよろしいでしょうか。

今回出していただいた意見、いろいろ多岐にわたりますので、改めて後日メールや FAX などを通じてご意見を遠慮なく出していただければと思います。

それを私と事務局の方で取りまとめたうえで、この委員会の提言、あるいは意見としますが、その際にご意見をいただいた方には、こういう理由で提言意見というふうに振り分けさせていただきますので、その点を事務局と私の方に一任していただくことでよろしいでしょうか。

《首肯》

ウ 行政評価に関する委員会報告書（案）の作成について

(阿部秘書政策課主査)

本日、皆様からいただきました評価結果と提言をまとめた報告書を作成し、委員長より市に提出していただきます。

次第の裏面をご覧ください。「(3) 行政評価に関する委員会報告書(案)の作成について」として、概要をお示ししております。

項目としましては、昨年度と同様の内容を考えております。報告書の掲載内容等についてご協議いただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。

なお、年内をめどに報告書としてまとめ、皆様にお示しするとともに市のホームページで公開したいと考えております。

併せて、皆様のご意見等に対する市の考え方をまとめる作業も進めたいと考えております。

(影山委員長)

委員会報告書の作成について、事務局より説明がありました。これについて、私と事務局で進めていくことでよろしいでしょうか。

《意見なし》

(影山委員長)

その他、議事全体としては何かございませんでしょうか。

《意見なし》

(影山委員長)

それでは、本日の議事については、以上で終了いたします。

(3) その他

(菊池秘書政策課長)

それでは次第の「5その他」でございますが、ここで事務局より来年度に向けた行政評価の見直し案について説明させていただきます。資料をお配りしますので少々お待ちください。

《資料配布》

(八重樫企画調整係長)

秘書政策課の八重樫です。それでは私の方からご説明させていただきます。

皆様から改善に関することをご意見いただきましたが、それ以外のテクニカルな部分での見直しということで、こちらから提案をさせていただきます。この場で決定するというものではありませんが、こういったことを現在考えているというところでございます。

1 ページ目、行政評価の見直しについて案ということですが、来年度は新しい総合計画の前期アクションプランの掲げる施策の行政評価の初年度であり、今が転換期になろうかと思っております。そこで、3点の改善をご説明させていただきます。

一つ目「施策と事務事業の関連性」というところで、例として挙げているように、施策の達成度がAとなっているが、事務事業の達成度はBやCが多いなど、関連していないんじゃないかというところは各

部会でもご意見として出たところでございます。

次に二つ目といたしまして「成果指標の達成状況」ですが、現在、成果指標の目標値を超えたものは A、90%以上 100%未満が B、それ以外が C と設定しておりますが、ちょっとそれは厳しいんじゃないかというご意見もありますし、現在の状況を見ますと、A が 25%、B が 28%、C が 47%と C が半数程度を占めておりまして、本当に見直しが必要なものがわかりづらいという課題があります。

三つ目といたしましては事務事業がこの施策に直接貢献しているかというところで、C となっているものがあるんですが、それが直接的に反映しないから廃止すべきということにはならないという課題がございます。

それを踏まえまして資料を見ていただきますと、これまでの単独での施策の評価ではなくて、やはり事務事業とセットで施策の達成度を評価していく形に見直しを考えてございます。

具体的に申し上げますと、今までは施策の成果指標を達成したら A、達成しなかったら C という単体の評価でしたが、これからは事務事業の評価結果も踏まえて検証していこうというものになっております。

見直し案の青い表のところ見ていただきますと、総合評価 A のものになるためには施策 A、事務事業 A または B という形で作ってはどうかと考えております。それ以下の B、C、D につきましても資料のとおり案を検討しているところでございます。

続きまして、3 ページ目につきましては現状を図示したものになります。現在の行政評価につきましては、ピンクの枠のみで施策を評価しております。一方で事務事業は緑の枠で個別の評価をしておりますが、これがリンクをしていないというところです。

4 ページ目をお開きください。見直し後の案といたしますと、施策と事務事業を連動させて評価をしていくことになります。そうしますと、必ずしもいい結果になるということではありません。例えば農業生産の支援につきましては現在の評価でいくと A になりますが、リンクさせた形での評価になりますと、事務事業が C ですので総合評価 B、と落ちる結果になります。逆に評価が上がるものも出てくるかと思いますが、このように見直しを検討してございます。

次に 5 ページ目をお開きください。それとセットで見直しの成果指標の達成状況につきまして、やはり 90%未満が C になるのは厳しいのではないかとこのところもございまして、この 90%を 10%引き下げ

まして 80%以上にするという案になります。現状では 89%でも C になるというようなところもございますので、それは概ね達成しているんじゃないかというご意見もありますし、県内の自治体を見ますと、岩手県や盛岡市の基準は 80%程度ということで、従来の花巻市がちょっとつめに設定していたというところもございますので、引き下げる検討をさせていただきます。

こちらにつきましては施策の成果指標もそうですし、それに紐づく事務事業も同様に引き下げをしようと予定をさせていただきます。

最後に、施策への事務事業の貢献度につきましては、様式からの削除を考えてございます。こちらにつきましては毎年の表示はしませんが、次回、例えば後期アクションプランの政策の体系の見直しには活用したいということで、実施はしていきますが評価シートからは削除することで考えているものになります。

駆け足の説明になりましたが、このようなことを現在考えているというご説明であります。以上です。

(菊池秘書政策課長)

この案につきまして、ご意見がございましたら後日、書面にていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。その他、委員の皆様から何かございませんでしょうか？

《意見なし》

(菊池秘書政策課長)

ありがとうございます。

それでは以上をもちまして第 4 回花巻市行政評価委員会を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。